



2018年10月10日

各 位

上場会社名 株式会社アイケイ
 代表者 代表取締役会長兼CEO 飯田 裕
 (コード番号 2722)
 問合せ先責任者 常務取締役 管理統括 高橋 伸宜
 (TEL 052-856-3101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年7月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年6月1日～2018年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,330	453	460	304	40.66
今回修正予想(B)	9,851	231	239	155	20.73
増減額(B-A)	△479	△222	△221	△149	
増減率(%)	△4.6	△49.0	△48.0	△49.0	
(ご参考)前期第2四半期実績(2018年5月期第2四半期)	9,272	518	524	371	49.91

2019年5月期通期連結業績予想数値の修正(2018年6月1日～2019年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,427	1,053	1,067	719	96.26
今回修正予想(B)	19,947	831	846	571	76.37
増減額(B-A)	△480	△222	△221	△148	
増減率(%)	△2.3	△21.1	△20.7	△20.3	
(ご参考)前期実績(2018年5月期)	18,337	898	899	641	86.07

修正の理由

2019年5月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、売上高はテレビショッピングでの主力商品であります「バタフライアブス」の売上効率ダウン(広告宣伝費に対する売上の効率)があり、前回予想を下回る見込みであります。また、利益面では広告宣伝費をはじめとする販売費及び一般管理費は計画よりも下回りますものの、ダイレクトにエンドユーザーに販売することで粗利益率が高いテレビショッピングでの売上が前述のとおり計画を下回る見込みのため、それに伴う売上総利益の減少インパクトが大きくなり、営業利益も減少となる見込みであります。

通期の連結業績予想につきましては、下期での計画の差異は僅少と判断しており、第2四半期連結累計期間の業績修正を受けて、前回予想を修正いたします。

(注)1. 前期第2四半期実績の1株当たり四半期純利益及び前期実績の1株当たり当期純利益は、2017年12月1日付及び2018年4月1日付でそれぞれ普通株式1株を2株に分割いたしました株式分割が、前連結会計年度の期首に分割が行われたと仮定して算出しております。

(注)2. 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。

※本件、「業績予想の修正に関するお知らせ」には、2018年10月10日に発表いたしました「取引先の民事再生手続(韓国の回生手続)開始申立てに関するお知らせ」が当社業績に与える影響は、現在精査中であるため含まれておりません。

以上